- 1 学則・奨学関係(131-2 大阪産業大学工学部修学規程)
 - 4 電気電子情報工学科
 - (1) 実践教育科目

	ı			1					.	(072 0	♥フィは必修行口/
			小水冷 14 日				週時	間数				
区分	科目	単位	卒業資格最 低単位数	1年	三次	2年	三次	3年	三次	4年	三次	備考
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
	電気電子情報工学入門	1	٧.	2								全員履修
	学習リテラシー	1	必 修	2								全員履修
	電気電子情報創造演習	1	1	2								
	コンピュータリテラシー	2	選	2								全員履修
	テクニカルライティング1	1	· 択 7	2								※全員履修
実践教育 科目	テクニカルライティング2	1	以		2							※全員履修
	キャリアプランニング	2	上			2						全員履修
	キャリアデザイン1	1	合 計				2					
	キャリアデザイン2	1	^百 1 8					2				
	インターンシップ	2	以 上					2				(集中)
	実践特別科目	2	<u> </u>						2			単位認定科目
小計		15	8以上	10	2	2	2	4	2	0	0	

[※]テクニカルライティング1、2の全員履修は留学生に対して適用しない。

(2) 総合教育科目

									週時	間数				ものは必修符日)
	区分		科目	単位	卒業資格最 低単位数	1年	F次	2年	三次	3年	三次	4年	三次	備考
					似事位剱	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
		教養入門ゼ	•	2		2								
			文学	2		2								
			哲学	2		2								
		人文科学	論理学	2		2								
			地理学	2			2							
			社会思想史	2		2								
			日本国憲法	2			2							
			現代の政治	2			2							
		社会科学	経済学の基礎	2			2							
			近代史	2			2							
			心理学	2		2								
			物質科学	2		2								
			宇宙科学	2		2								
		自然科学	環境科学	2		2								
	教養教育		生命科学	2	20以上	2								
	科目		現代数学入門	2		2								
			平和学	2		2	(2)							
			時事問題	2			2							
		学際領域	外国の社会と文化	2			2							
			倫理学(工業倫理含む)	2			2							
			科学技術史	2			2							
			日本事情1	2		2								留学生向け科目
総合教育 科目		日本文化	日本事情2	2			2							留学生向け科目
		口个文化	日本の社会と文化1	2		2								留学生向け科目
			日本の社会と文化2	2			2							留学生向け科目
			教育原理	2			2							教職課程科目
			教育心理学	2		2								教職課程科目
		人間教育	道徳教育の理論と方法	2					2					教職課程科目
			人権教育	2					2					教職課程科目
			生涯学習論	2				2						教職課程科目
			英語(Listening&Speaking)1	1		2								
			英語(Listening&Speaking)2	1			2							
			英語(Listening&Speaking)3	1				2						
			英語(Listening&Speaking)4	1					2					
			TOEIC上級(Listening)1	1				2						
			TOEIC上級(Listening)2	1					2					
	ラ新大ル		英語(Reading&Writing)1	1	4121 0121	2								
	言語文化 科目	英語	英語(Reading&Writing)2	1	4以 8以 上 上		2							
			英語(Reading&Writing)3	1				2						
			英語(Reading&Writing)4	1					2					
			TOEIC上級(Reading)1	1				2						
			TOEIC上級(Reading)2	1					2					
			英語総合(上級)1	1						2				
			英語総合(上級)2	1			1				2			
			英語海外研修	2				2	2					(集中)

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

										週時	間数	77:-			ものは必修行百万
	区分		科目	単位	卒業資材 低単位	各最物	1年	三次	2年	三次	3年	三次	4年	次	備考
						. 30	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
			初修外国語入門1	1			2								
			初修外国語入門2	1				2							
			初修外国語初級1	1					2						
		初修外国語	初修外国語初級2	1						2					
		初位 初位 初位 初位 初位 日本	初修外国語総合1	1							2				
			初修外国語総合2	1								2			
			初修外国語海外研修	2		2			2	2					(集中)
	言語文化 科目	日本語読解1	1	(8以上)	0 以	2								留学生向け科目	
			日本語読解2	1		上)		2							留学生向け科目
総合教育			日本語作文1	1			2								留学生向け科目
科目		日本語	日本語作文2	1				2							留学生向け科目
		口 / 中山	上級日本語読解1	1					2						留学生向け科目
			上級日本語読解2	1						2					留学生向け科目
			上級日本語作文1	1					2						留学生向け科目
			上級日本語作文2	1						2					留学生向け科目
			スポーツ科学実習1	1			2								
	身休科学科	本科学科目	スポーツ科学実習2	1				2							
			スポーツ科学	2					2						
			運動科学	2						2					
	小計			98	20以_	Ŀ	42	36	22	24	4	4	0	0	

注) 総合教育科目の履修要件

- イ 1年次配当の英語については、プレイスメントテストを実施し、その結果に基づいて、習熟度別にクラスを分ける。ただし、英語の2年次および3年次配当科目については、この限りではない。
- ロ 英語は「4単位以上」必修であるが、この規定は留学生には適用しない。
- ハ 初修外国語はドイツ語、フランス語、中国語から構成され、複数の言語を卒業要件単位に算入することも可能とする。ただし、各言語は、必ず「入門1」 から履修しなければならない。
- ニ 留学生は、日本文化の4科目8単位および日本語の8科目8単位を必修とする。なお、留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。
- ホ 留学生には英語のプレイスメントテストを実施しない。

(3) 専門教育科目

(各履修コースの○印は必修科目、□印は選択必修科目、―印はコースによって履修できない科目を表す。)

							最低単位				,,,,,		間数				3 V 71 L 2 X 9 0 7
	区分		科目	単位			電子性		1年	三次	2年	三次		三次	4年	三次	備考
					电人に	一ス	学コ				前期	_	前期		前期		
			基礎数学および演習	4					6								•
			—————————————————————————————————————	2		1			2	(2)							全員履修 ●◎
			代数学1	2		1			2	(2)							全員履修 ●◎
			数学演習1	1		1			2	(2)							全員履修 ●◎
			解析学2	2		1				2	(2)						全員履修 ●◎
			代数学2	2		1				2	(2)						全員履修 ●◎
			数学演習2	1		1				2	(2)						全員履修 ●◎
			解析学3	2		1					2						0
			代数学3	2		虚		垂			2						0
			幾何学1	2		電気		電子			2						
			幾何学2	2		電子		情 報				2					
			電気と数学	2		工		工		2							全員履修
			確率と統計	2		学コ		学コ			2						
			応用数学1	2		ース		ース				2					
			応用数学2	2									2				
			基礎物理学および演習	2		必修		必修	4								A
			物理学1および演習	2		$\frac{1}{2}$		$\frac{1}{2}$	4	(4)							全員履修 ▲△
			物理学2	2		6		6		2							#全員履修 △
			化学1	2		選		選	4								全員履修
専門教育	専門基礎	共通科目	化学2	2		択必		択必		2							全員履修
科目	科目	光进行口	基礎電磁気学1	2	\circ	修	\circ	修		2	(2)						*
			基礎電磁気学2	2	0	$\frac{3}{2}$		$\frac{3}{2}$			2	(2)					*
			電磁気学1	2	\circ	以		以				2					
			電磁気学2	2		上選		上選					2				
			回路の基礎	2	\circ	択 3	\circ	択 3	2	(2)							*
			電気回路1	2	\circ	0	\circ	0		2	(2)						*
			電気回路2	2	\circ	以上	\circ	以 上			2						
			線形回路論	2		合		合				2					
			基礎電子回路	2		計 8		計 8				2					全員履修
			アナログ電子回路	2		8		8					2				
			論理回路	2		以上	\circ	以 上				2					
			ディジタル回路	2									2				
			電子デバイス	2							2						
			電気電子計測	2]					2						全員履修
			制御工学1	2								2					
			制御工学2	2									2				
			計算機工学概論	2		1	0				2						
			基礎プログラミング1	2		1				2							
			基礎プログラミング2	2		1					2						
			応用プログラミング	2								2					

[備考欄] #全員履修:「基礎物理学および演習」を履修しなかった者のみ適用

(履修コースの○印は必修科目、□印は選択必修科目、―印はコースによって履修できない科目を表す。)

						(複	修コー	・スのし)別は火	修科	目、凵	別は選	択必修	科目、	—H1(エコー	スによっ	(復作	きでき	ない科目を表す。)
						卒第	美資格	最低単	位数					ij	固時間	数				
	区分		科目	単位	電気電	€子工 ²	学コー	電子情	青報工学	ピコー	1年	次	2年	次	3年	三次	4	年次		備考
						ス			ス		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	3	後期	
			発変電工学	2			(電			(電				2						指定先行履修有
			送配電工学	2		1	気		1	子					2					指定先行履修有
			電気機器工学	2			電子			情 報						2				指定先行履修有
			電気応用工学	2			工学		Ī	工 学						2				指定先行履修有
			パワーエレクトロニクス	2			ナコー		I	ナコー							2			,
		電気電子	電子物性論	2			ス		I	ース				2						
		工学科目	電気電子材料	2		2	2/		I						2					
			半導体工学	2		0	必修			必修						2				
			計測とセンシング	2		以上	2			2					2					
			電子回路設計	2			6			6						2				
			光・電磁波工学	2			選択			選 択						2				
専門教育	専門応用		光エレクトロニクス	2			必			必							2			
科目	科目		情報通信工学1	2			修 3			修 3				2						
			システムと制御	2			2		<u> </u>	2						2				
			情報通信機器	2			以上			以上							2			
			ディジタル信号処理	2			選		20以	選						2				
			アルゴリズムとデータ構造	2			· 报 3		上	択 3				2						
		電子情報	情報理論	2			0			0					2					
		工学科目	ソフトウェア工学	2			以 上			以 上						2				
			情報セキュリティ	2			合			合							2			
			情報通信工学2	2			計 8			計 8					2					
			情報ネットワーク	2			8			8						2				
			組込システム	2			以上			以上)						2				指定先行履修
			情報メディア工学	2)						2				

(履修コースの○印は必修科目、□印は選択必修科目、―印はコースによって履修できない科目を表す。)

					卒業資格							問時間				はいれるで表り。) 備考
	区分	科目	単位	電気電	這子工学コー	電子情	青報工学コー	1年	次	2年	次	3年	三次	4年次		
					ス		ス	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
		電気電子情報基礎演習1	2	0	必(0	必 (4							
		電気電子情報基礎演習2	2	0	修 電 3 気	0	修 電 3 子			2						
		電気電子情報工学基礎実験	2	0	2 電	0	2 情				4					
		電気電子工学実験	2	0	以 子 上 工		以 報 上 工					4				
		電子情報工学実験	2		・学	0	・ 学 選 コ					4				
	専門総合科目	電気電子情報工学ゼミナール	2	0	選択。	0	上択一						4			履修制限有
専門教育 科目		電気設備工学特別講義	2		$\begin{array}{c} \smile & 3 & \nearrow \\ & 0 & \end{array}$	_	$\begin{pmatrix} & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & \\ & & \\ & \\ & \\ & & \\ & & \\ & & \\ & \\ & & \\ & \\ & \\ & & \\ & \\ & \\ & \\ & \\ & \\ & \\ & \\ $			2						(集中)
		電気電子工学特別講義	2		以必	_	以上修					2				
		電力工学特別講義	2		以 上 合 2	_	上 ^修 合 2						2			
		産業財産権	2		計 6		計 6					2				
		電波・通信事業法規	2		8 · 8 選		8 · 8 選							2		
	卒業研究	卒業研究	4	\circ	以択	\circ	以択							8	8	
		小計	154	154	88以上	148	88以上	26	22	24	28	32	28	18	8	
美	送践教育科目、総合教育	科目、専門教育科目合計	267	267	124	261	124	78	60	48	54	40	34	18	8	

- 注) 専門教育科目の履修要件
 - I. 全コースに適用されるもの
 - イ 各分野において定められた最低要件単位数を超えて修得した単位は、選択科目として卒業要件単位に算入することができる。
 - ロ 備考欄中の表記
 - (1) ●と◎は、数学プレイスメントテストの結果によって履修の順序が指定される科目
 - (●の場合) 「基礎数学および演習」→「解析学1」「代数学1」「数学演習1」→「解析学2」「代数学2」「数学演習2」 (◎の場合) 「解析学1」「代数学1」「数学演習1」→「解析学2」「代数学2」「数学演習2」→「解析学3」「代数学3」
 - (2) ●の科目を履修する者は、「解析学3」「代数学3」を履修することはできない。
 - (3) ◎の科目を履修する者は、「基礎数学および演習」を履修することはできない。
 - (4) ▲と△は、物理プレイスメントテストの結果によって履修の順序が指定される科目
 - (▲の場合) 「基礎物理学および演習」→「物理学1および演習」

(△の場合) 「物理学1および演習」→「物理学2」

- (5) △の科目を履修する者は、「基礎物理学および演習」を履修することはできない。
- (6) 全員履修科目は、必ず履修しなければならない科目(必修科目ではない)であり、原則として、習熱度別で複数のクラス編成をおこなう。
- (7) 指定先行科目

「発変電工学」「送配電工学」「電気機器工学」および「電気応用工学」を履修するためには、「回路の基礎」「電気回路1」および「基礎電磁気学1」をあらかじめ修得していなければならない。

「組込システム」を履修するためには、「基礎プログラミング1」および「基礎プログラミング2」をあらかじめ修得していなければならない。

- (8) ★は、前期に修得できなかった者が、後期に履修申請の変更により、履修できる科目
- Ⅱ. 電気電子工学コースおよび電子情報工学コースに適用されるもの
- イ 卒業要件単位は、必修科目26単位、選択必修科目32単位および選択科目30単位以上、合計88単位以上とする。
- ロ 専門基礎科目分野(共通科目)および専門総合科目の選択必修科目(13科目26単位)の中から、12単位以上を修得すること。
- ハ 専門応用科目分野の選択必修科目は、20単位以上を修得すること。
- ニ ロおよびハの選択必修科目の卒業資格最低単位数を越えて修得した単位数は、選択科目の単位数に算入する。
- ホ 「電気電子情報工学ゼミナール」を履修するためには、3年次前期履修登録時に卒業要件単位を58単位以上修得していなければならない。

IV. コース変更

・コース変更は学科で承認された場合にのみ認めるものとし、変更時期は3年次までの毎学年始めの履修申請時とする。コース変更により、在学年次に変更は生じない。なお変更は、在学中で1回限りとする。

- ◆コース変更後の所属コースでの履修要件について
- コース変更後、直ちに所属コースの履修要件が課せられる。

ニ. 中学校教諭一種免許状・数学(電気電子情報工学科/数学コース)

教育職員免認	午法施行規則							週時	間数				
に定める科目	目区分及び各 ることが必要	授業科目	単位	最低修得 単位数	1年	三次	2年	三次	3年	沙	4年	三次	備考
な事項					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
		代数学1	2		2	(2)							
	代数学	数学演習1	1		2	(2)							
	1人数于	代数学2	2			2	(2)						
		代数学3	2				2						
		幾何学1	2				2						
	幾何学	幾何学2	2					2					
	及刊于	応用数学1	2	左 記				2					
		応用数学2	2	記 よ					2				
教科に関す る専門的事		解析学1	2	り	2	(2)							
祖	事 解析学	解析学2	2	必修を含め		2	(2)						
	丹年701 了	数学演習2	1	を 会		2	(2)						
		解析学3	2				2						
	「確率論、	確率と統計	2	$\frac{2}{8}$			2						
	統計学」	情報理論	2	単					2				
		計算機工学概論	2	単位以上			2						
		アルゴリズムとデータ構造	2	上				2					
	タ	ディジタル回路	2						2				
		組込システム	2							2			
		数学科教育法1	2				2						
各教科の指導	教科の指導法(情報通 技術の活用を含む。)	数学科教育法2	2					2					
信技術の活用		数学科教育法3	2						2				
		数学科教育法4	2							2			
合計			42	28以上	6	6	12	8	8	4	0	0	

ホ. 高等学校教諭一種免許状・数学(電気電子情報工学科/数学コース)

	午法施行規則							週時	間数				
に定める科目	目区分及び各 ることが必要	授業科目	単位	最低修得 単位数	1年	三次	2年	次	3年	次	4年	三次	備考
な事項					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
		代数学1	2		2	(2)							
	代数学	数学演習1	1		2	(2)							
	1人数于	代数学2	2			2	(2)						
		代数学3	2				2						
		幾何学1	2				2						
	幾何学	幾何学2	2					2					
	及刊于	応用数学1	2	左				2					
		応用数学2	2	左 記 よ					2				
教科に関す る専門的事		解析学1	2	り	2	(2)							
項号門的事	事解析学	解析学2	2	必修を含め		2	(2)						
	州年が1 子	数学演習2	1	を 会		2	(2)						
		解析学3	2				2						
	「確率論、	確率と統計	2	$rac{2}{4}$				2					
	統計学」	情報理論	2						2				
		計算機工学概論	2	単位以上			2						
		アルゴリズムとデータ構造	2	上				2					
	タ	ディジタル回路	2						2				
		組込システム	2						2				
		数学科教育法1	2				2						
各教科の指導	教科の指導法(情報通技術の活用を含む。)	数学科教育法2	2					2					
信技術の活用		数学科教育法3	2						2				
		数学科教育法4	2							2			
合計			42	24以上	6	6	10	10	10	2	0	0	

へ. 高等学校教諭一種免許状・情報(電気電子情報工学科/情報コース)

	午法施行規則							週時	間数				
に定める科目に含める	目区分及び各ることが必要	授業科目	単位	最低修得 単位数	1年	三次	2年	三次	3年	三次	4年	三次	備考
な事項				, ,—>>	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
	情報社会	コンピュータリテラシー	2		2								\triangle
	(職業に関する内容を	産業財産権	2						2				
	含む。)・ 情報倫理	情報と職業	4						2	2			
	コンピュー	基礎プログラミング1	2			2							実習を含む。
	タ・情報処	計測とセンシング	2						2				
	理	システムと制御	2							2			
		基礎プログラミング2	2	左			2						実習を含む。
	Ida del a	応用プログラミング	2	記 よ				2					実習を含む。
*/ */) - == }	情報システ ム	論理回路	2	り				2					
教科に関する専門的事		ソフトウェア工学	2	必修を含め						2			
項		情報セキュリティ	2	を今							2		
		情報ネットワーク	2	-						2			
	情報通信	電子情報工学実験	2	$\frac{2}{6}$					4				実習を含む。
	ネットワー	情報通信工学1	2	単 位				2					
	9	情報通信工学2	2	位 以					2				
		情報通信機器	2	上							2		
	マルチメ	電気電子情報基礎演習2	2				2						実習を含む。
	ディア表 現・マルチ メディアは	ディジタル信号処理	2							2			
	メディア技	情報メディア工学	2							2			
	指導法(情報通	情報科教育法1	2						2				
信技術の活用	用を含む。)	情報科教育法2	2							2			
合計			44	26以上	2	2	4	6	14	14	4	0	

注) 備考欄中の△印は、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」指定科目

ト. 高等学校教諭一種免許状・工業(電気電子情報工学科)

教育職員免討	午法施行規則								間数				· 农城纪修行百万
に定める科目	目区分及び各 ることが必要	授業科目	単位	最低修得 単位数	1年	三次	2年	三次	3年	三次	4年	三次	備考
な事項	300円が必要			平位级	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
		電気電子情報工学入門	1		2								
		電気電子情報創造演習	1		2								
		電気電子情報基礎演習1	2			4							
		基礎電磁気学1	2			2							
		基礎電磁気学2	2				2						
		電磁気学1	2					2					
		電磁気学2	2						2				
		回路の基礎	2		2								
		電気回路1	2			2							
		電気回路2	2				2						
		線形回路論	2	左				2					
		電子デバイス	2	記よ			2						
	. We BE to	電子物性論	2	り				2					
	4に関す 工業の関係	電気電子材料	2	修					2				
項を円的争		半導体工学	2	必修を含め						2			
		発変電工学	2					2					
		送配電工学	2	$\frac{2}{7}$					2				
		電気応用工学	2	単						2			
		基礎電子回路	2	単位以上				2					
		アナログ電子回路	2	上					2				
		電子回路設計	2							2			
		電気電子計測	2				2						
		制御工学1	2					2					
		制御工学2	2						2				
		電気電子情報工学基礎実験	2					4					
		電気電子工学実験	2						4				
		電気電子情報工学ゼミナール	2							4			
	職業指導	職業指導	4						2	2			
各教科の指導	算法(情報通	工業科教育法1	2						2				
信技術の活用	用を含む。)	工業科教育法2	2							2			
合計			60	27以上	6	8	8	16	18	14	0	0	

(2) 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免	許法施行規則に定						週時	間数							
める科目区	分及び各科目に含 必要な事項	授業科目	単位		三次	·	次		三次		次	中学校	高等学 校	牛果安 件単位 算入科	
	教育の理念並びに 教育に関する歴史 及び思想	教育原理	2	前期	後期 2	前期	後期	前期	後期	前期	後期	©	1X ©	算八百 ※	
	教職の意義及び教 員の役割・職務内	教職入門	2	2								©	©		
	教育に関する社会 的、制度的又は経	教育制度論	2			2						(a)	(a)		
教育の基	営的事項(学校と 地域との連携及び	人権教育	2				2					0	0	*	
礎的理解 に関する	学校安全への対応 を含む。)	生涯学習論	2			2						0	0	*	
科目	幼児、児童及び生 徒の心身の発達及 び学習の過程	教育心理学	2	2								©	©	*	
	特別の支援を必要 とする幼児、児童 及び生徒に対する 理解	特別支援教育概論	2				2					©	©		
	教育課程の意義及 び編成の方法(カ リキュラム・マネ ジメントを含 む。)	教育課程論	2					2				©	©		
	道徳の理論及び指 導法	道徳教育の理論と方法	2				2					0	\circ	*	
	総合的な学習の時 間の指導法	特別活動及び総合的な学習の 時間の指導法	2						2			©	©		
	特別活動の指導法 教育の方法及び技														
道徳、総 合的な学	術	教育方法論	2		2							0	0		
習の時間 等の指導 法及び生	情報通信技術を活 用した教育の理論 及び方法	教育とICT活用	1					1	0			0	0		(集中)
徒指導、 教育相談	生徒指導の理論及 び方法		2			2						0	0		
等に関する科目	進路指導及びキャリア教育の理論及 び方法	生徒指導・進路指導論													
	教育相談(カウン セリングに関する 基礎的な知識を含 む。)の理論及び 方法	教育相談の理論と方法	2				2					©	©		
		教育実習1	1					2	2			0	0		事前・事後 指導
教育実践 に関する	教育実習	教育実習2a	4							8		0			(集中)
科目		教育実習2b	2							4			0		(集中)
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2								2	0	0		
合計			36	4	4	6	8	5	4	12	2				

注)

1. 高等学校教諭普通免許状においては、事項「総合的な学習の時間の指導法」は「総合的な探究の時間の指導法」となる。

注)

2

- イ 備考欄中の◎印は、各免許の必修科目
- ロ 備考欄中の○印は、各免許の選択科目
- ハ 備考欄中の※印は、電気電子情報工学科のみ、総合教育科目区分の卒業要件単位として算入する。

(3) 大学が独自に設定する科目

					週時	間数						
授業科目	単位	1年	三次	2年	三次	3年	三次	4年	三次	備考		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	4年次 前期 後期			
道徳教育の理論と方法	2				2							
合計	2	0	0	0	2	0	0	0	0			

注) 上記科目は、高等学校教諭一種免許状取得希望者にのみ適用される科目とする。